

**令和6年度 群馬県がん対策推進協議会がん検診精度管理部会
(生活習慣病検診等管理指導協議会)各部会協議概要**

胃・大腸がん部会	
日 時	令和7年1月7日(火) 18:30~19:40
場 所	Web 開催(県庁14階 141会議室/WEB)
議 題	1 胃・大腸がん検診精度管理調査結果 2 胃・大腸がん検診実施状況について 3 指摘事項の改善状況
協 議 概 要	
1	<p>令和6年度各がん検診精度管理調査結果について</p> <p>1)がん検診事業評価のためのチェックリスト遵守状況調査結果について</p> <p> <胃がん検診・大腸がん検診></p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェックリストは令和6年3月に改定されているが今年度はまだ整備が間に合わない可能性があるため、改定前のチェックリストで調査を行った。 ・集団検診、個別検診、胃内視鏡検診ともに指導対象とする評価「C」以下の市町村はない。 ・非遵守項目がある集団検診機関には、非遵守項目の減少へ向けて、改善と報告をお願いする(胃:明和セントラル病院、大腸:明和セントラル病院)。 <p>2)令和4年度精度指標調査について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成20年以降、プロセス指標は改善しており、多くの自治体が基準値を満たしたことから、さらなる質の向上を目指すために、令和5年6月の「がん検診のあり方検討会」において、基準値の見直しが行われた。当県では今年度、来年度を新しい基準値への移行期間とし、指導助言を行うこととした。 <p> <胃がん検診></p> <ul style="list-style-type: none"> ・胃がん検診(胃部エックス線)の精検受診率70%未満の市町村には、その理由に関する調査と報告をお願いする(集団:伊勢崎市・安中市、個別:太田市、内視鏡:板倉町・明和町)。 ⇒安中市に関して、精密検査未受診者に対する受診勧奨の上限年齢について、検討をお願いしたい。 ・胃がん検診(胃部エックス線)の精検受診率70%未満の集団検診機関には、その理由に関する調査と報告をお願いする(伊勢崎市佐波医師会病院付属成人病検診センター)。 <p> <大腸がん検診></p> <ul style="list-style-type: none"> ・精検受診率70%未満の市町村には、その理由に関する調査と報告をお願いする(集団:安中市・下仁田町・昭和村、個別:安中市・下仁田町)。 ⇒安中市に関して、精密検査未受診者に対する受診勧奨の上限年齢について、検討をお願いしたい。 ・精検受診率70%未満の集団検診機関には、その理由に関する調査と報告をお願いする(伊勢崎市佐波医師会病院付属成人病検診センター)。 ・要精検率が高くなる要因については、検体保存方法や検査キットの問題等が考えられる。 ⇒明和セントラル病院に関して、検体保存方法や検査キット等も含めた検討を明和町とともにお願いしたい。 <p>2 令和6年度市町村がん検診実施状況調査について</p> <p> <胃がん検診></p> <ul style="list-style-type: none"> ・胃がん検診は、50歳以上の方に2年に1回行うよう指針に定められている(胃部X線検査は当分の間40歳以上の方に年1回実施しても差し支えない。) ・胃内視鏡検診を50歳未満の方に実施している市町村には、改善をお願いする(前橋市、高崎市、伊勢崎市、太田市、藤岡市、玉村町、大泉町)。 ・胃内視鏡検診を毎年実施している市町村には、改善をお願いする(伊勢崎市、太田市、藤岡市、玉村町)。 <p> <大腸がん検診></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大腸がん検診は、40歳以上の方に行うよう指針に定められている。 ・すべての市町村で指針どおりに実施している。

3 その他

- ・新しい基準値がかなり厳しくなった印象がある。しかし、大腸がん等の罹患が増えている背景があるため、精検受診率を90%に近づける努力が必要である。

肺がん部会

日時	令和7年1月30日(木)18:30~19:30
場所	Web開催(県庁14階 141会議室/WEB)
議題	1 肺がん検診精度管理調査結果 2 肺がん検診実施状況について 3 指摘事項の改善状況

協議概要

1 令和6年度肺がん検診精度管理調査結果について

1) がん検診事業評価のためのチェックリスト遵守状況調査結果について

- ・チェックリストは令和6年3月に改定されているが今年度はまだ整備が間に合わない可能性があるため、改定前のチェックリストで調査を行った。
- ・集団検診、個別検診ともに指導対象とする評価「C」以下の市町村はない。
- ・非遵守項目がある集団検診機関には、非遵守項目の減少に向けて、改善と報告をお願いする(明和セントラル病院)。

2) 令和4年度肺がん検診精度指標調査について

- ・平成20年以降、プロセス指標は改善しており、多くの自治体が基準値を満たしたことから、さらなる質の向上を目指すために、令和5年6月の「がん検診のあり方検討会」において、基準値の見直しが行われた。当県では今年度、来年度を新しい基準値への移行期間とし、指導助言を行うこととした。
- ・精検受診率70%未満の市町村には、その理由に関する調査と報告をお願いする(集団:明和町)。
- ・精検受診率70%未満の集団検診機関には、その理由に関する調査と報告をお願いする(明和セントラル病院)。
- ・精検未把握率が11%以上の市町村には、改善をお願いする(集団:安中市・嬬恋村・明和町・千代田町)
- ・精検未把握率が11%以上の集団検診機関には、改善をお願いする(明和セントラル病院)

2 令和6年度市町村肺がん検診実施状況調査について

- ・肺がん検診は胸部エックス線検査を40歳以上の男女に実施することとしている。また50歳以上の重喫煙者に対しては喀痰細胞診も実施することとしている。
- ・邑楽町は胸部エックス線検査のみの実施であり、指針どおり、50歳以上の重喫煙者に対する喀痰細胞診を実施するよう改善と報告をお願いする。
- ・上記に関して、邑楽町担当者からの聞き取りによると、問診場所や人員の不足等の問題や、過去に喀痰細胞診を実施していたときのがん発見率が低く、費用対効果の課題があり中止した経緯があったとのこと。このことについて、出席委員からは、「喀痰細胞診でがんが発見されることが少ないことは事実としてあるが、指針として実施することとなっているので、そのように改善をお願いしたい」との意見が出た。
- ・大泉町は喀痰細胞診を希望者にも実施しているため、指針どおりの対象へ実施するよう改善と報告をお願いする。また調査時には対象以外(希望者)を除いた数値を報告することをお願いする。

3 その他

- ・特になし

乳がん部会	
日時	令和7年1月10日(金) 18:30~19:30
場所	Web 開催(県庁14階 141会議室/WEB)
議題	1 乳がん検診精度管理調査結果 2 乳がん検診実施状況について 3 指摘事項の改善状況
協議概要	
<p>1 令和6年度乳がん検診精度管理調査結果について</p> <p>1) がん検診事業評価のためのチェックリスト遵守状況調査結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェックリストは令和6年3月に改定されているが今年度はまだ整備が間に合わない可能性があるため、改定前のチェックリストで調査を行った。 ・集団検診、個別検診ともに指導対象とする評価「C」以下の市町村および評価「B」以下の検診機関はない。 <p>2) 令和4年度乳がん検診精度指標調査について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成20年以降、プロセス指標は改善しており、多くの自治体が基準値を満たしたことから、さらなる質の向上を目指すために、令和5年6月の「がん検診のあり方検討会」において、基準値の見直しが行われた。当県では今年度、来年度を新しい基準値への移行期間とし、指導助言を行うこととした。 <p>(1) 精検受診率について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精検受診率 80%未満の市町村には、その理由に関する調査と報告をお願いする(集団:大泉町、個別:孺恋村)。 ・精検未把握率が11%以上の市町村には、改善をお願いする(個別:伊勢崎市)。 →電話等で本人、医療機関に確認を行っているが、正確な情報が得られず未把握になってしまふ。今後は医療機関に対し文書での回答を求めていく予定(伊勢崎市) ⇒行政として精検受診率の向上と未把握率の低下に注力する必要がある。 <p>2 令和6年度市町村乳がん検診実施状況調査について</p> <p>(1) マンモグラフィとエコーの併用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桐生市は40代の希望者にマンモグラフィとエコーの併用検診を実施し、大泉町は40歳以上の方全て(臨床試験が行われていない50歳以上も含む。)に併用検診を実施している。いずれの場合でもエコー検査を追加することの利益・不利益を受診者にきちんと説明いただきたい。部会としては、エコー検査を公的な検診として実施するには時期尚早と考えている。 ⇒大泉町に関して、50歳以上の受診者に対し、マンモグラフィ検査のみ受診可能という選択肢を設ける検討をお願いしたい。 <p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的に指摘事項は減少している。 ・がん検診受診率・精検受診率の向上と精検未把握率の低下に努力が必要である。 	

子宮がん部会

日時	令和7年1月20日(月)18:30~19:50
場所	Web開催(県庁14階 141会議室/ZOOM)
議題	1 子宮がん検診精度管理調査結果 2 子宮がん検診実施状況について 3 指摘事項の改善状況

協議概要

1 令和6年度子宮がん検診精度管理調査結果について

1) がん検診事業評価のためのチェックリスト遵守状況調査結果について

- ・チェックリストは令和6年3月に改定されているが今年度はまだ整備が間に合わない可能性があるため、改定前のチェックリストで調査を行った。
- ・集団検診、個別検診ともに指導対象とする評価「C」以下の市町村はない。
- ・非遵守項目がある集団検診機関には、非遵守項目の減少へ向けて、改善と報告をお願いする(明和セントラル病院)。

2) 令和4年度子宮がん検診精度指標調査について

- ・平成20年以降、プロセス指標は改善しており、多くの自治体が基準値を満たしたことから、さらなる質の向上を目指すために、令和5年6月の「がん検診のあり方検討会」において、基準値の見直しが行われた。当県では今年度、来年度を新しい基準値への移行期間とし、指導助言を行うこととした。

(1) 精検受診率について

- ・精検受診率 70%未満の市町村には、その理由に関する調査と報告をお願いする(集団:富岡市・川場村、個別:嬬恋村・川場村・明和町)。
- ・精検受診率 70%未満の集団検診機関には、その理由に関する調査と報告をお願いする(伊勢崎市佐波医師会病院附属成人病検診センター)。
- ⇒いずれの市町村・検診機関も、要精検となった分母の数が少ないため、1人の未受診・未把握の影響が大きくなっている。ただし、分母が少ないからこそ直接連絡を取りやすい・フォローしやすい面もあるため、勧奨や再勧奨をより緻密に行っていただきたい。
- ・精検未把握率が 11%以上の市町村には、改善をお願いする(集団:伊勢崎市・千代田町、個別:安中市・嬬恋村・川場村・みなかみ町・明和町・千代田町)。
- ・精検未受診率 21%以上の市町村には改善をお願いする(集団:富岡市・川場村)
- ⇒勧奨・再勧奨は一度だけでなく何度か実施することで、多少もれが少なくなるため、実施していない市町村は検討を、実施している市町村は継続いただきたい。

2 令和6年度市町村子宮がん検診実施状況調査について

(1) 対象者・受診間隔について

- ・子宮がん検診は、20歳以上の女性に2年に1回行うよう指針には定められている。
- 《受診間隔が毎年としている市町村への主な意見》
- ・県立がんセンターの患者にアンケート調査をしたところ、進行がんの方の8~9割が定期的ながん検診の受診をしておらず、定期的に受診している方はCIN1~2の方がほとんどだった。子宮頸がんの死亡率を減らすと考えた際に、受診していない方をいかに受診させるかが大事。検診を毎年実施していても、資料を見るとがんはほとんど発見されていない。
- ・受診率を上げる意味では、受診機会として毎年ある方が良いと感じる。
- 女性の健康・受診機会の確保という視点は大事だが、検診として考えたときに、国がエビデンスに基づいて実施していることでもある。実際、CIN1~2の方が半年後にいきなり進行がんになることはほぼない。検診の不利益(出血や過剰診断、偽陽性)を最小化するためにも、国の指針に基づき実施していく方向に進めていければと思う。
- ⇒検診機会が毎年ある市町村には改善をお願いする(高崎市・桐生市・伊勢崎市・太田市・館林市・安中市・玉村町)。

(2) 指針外のがん検診について

① 子宮体がん検診

- ・高崎市で子宮体がん検診を実施。体がんが増加している印象もあるが、体がんの9割以上に不正性器出血がある。また、体がん検診の際には子宮内膜細胞診を実施していると思うが、この内膜細胞診自体の精度が高くない。これらのことから、子宮体がん検診は原則実施しない方向で進めていただきたい。

②HPV 検診(細胞診併用)

- ・今年度は県内で3つの自治体(高崎市、館林市、上野村)が細胞診と併用で実施。今年度、指針に HPV 検査単独法が導入されたが、HPV検査単独法を実施した市町村はない。(来年度も実施予定なし)
- ⇒指針にもあるように、HPV検査については、精度管理が重要になるため、精度管理が正しく行われていないのであれば、実施しない方向で進めていただきたい。

2 その他

- ・一番問題で重要なことは受診率をいかに上げるかということ。今後の検討課題である。